

一般助成 子どもの健やかな成長を願う事業(つながり・かかわり)

「親子で通う 里海のようにえん『こみこ』」事業

身近で豊かな自然との触れ合いを通じて 子育て中の母親の支援とケアを行う

豊かな自然に恵まれた徳島県阿南市。その自然環境を活かし、情報過多な時代の中でかえって子どもとの関わりに悩み、ストレスを抱え、孤立する母親たちを支援しようと活動している団体がある。アウトドアとカウンセリングの専門スキルを持ったスタッフが「場づくり」を行い、自然体験やカウンセリング、子育て支援イベントを実施した。



里海のようにえん『こみこ』を告知するチラシ



親子でビーチコーミングや海遊びを体験

子育て中の母親こそが自然の中で 子育てを楽しむ必要性がある

1985年に設立された徳島県阿南市に拠点を置くNPO法人「自然スクールトエック」は、青少年に対して、年間を通して野外活動および環境教育に関する事業を行うことで社会に寄与することを目的とする団体である。主な活動として、自然体験事業、環境教育事業、子育て支援事業、不登校児の適応指導事業、カウンセリングによるケア事業、自然体験活動等の指導者の育成事業などを行っている。

同法人では、家庭に引きこもりがちな乳幼児を抱えて子育て中の母親こそが多様な自然環境の中で子育てを楽しむ、豊かな子育て期間を送る必要があると考えてきた。そこで孤立しがちな子育て世代を地域の人やネットワークとつなげ、母親の育児不安や孤独感を解消し、子どもへの

虐待を未然に防ぐとともに、その時期ならではの子育ての楽しみ、自然との付き合い方を知ってもらい、豊かな親子の関係性を構築してもらいたいという願いから、2018年度、AJOSCの助成を活用し、乳幼児～未就学の子どもとその親(主に母親)を対象に、身の回りで楽しめる自然体験活動とカウンセリング、子育て支援事業の周知を目的とした様々なイベントを行った。

事業に先立ち、同法人では地元タウン誌や地元新聞などの情報欄への投稿、イベント開催地周辺や生協会員への折り込みチラシ配布、ホームページやSNSの活用などを通して、活動の周知に努力した。また、活動拠点の窓枠を改修し、室内から子どもたちの遊ぶ様子が見えるよう、活動環境の整備などを行い、継続した活動のための基盤づくりにも取り組んだ。

自然体験やイベントで回を重ねるごとに 肩の力が抜け、表情が和らぐ母親たち

身の回りで楽しめる自然体験活動とカウンセリングは年間18回開催されたが、主なものは絵本の読み聞かせ、山への散策、ビーチコーミング(海岸の漂流物の収集や観察)、ミュージックケア、海遊び、手遊び、自然散策、クラフトづくり、草木染め、どんぐり遊び、里山めぐり、野草摘みなどで、延べ62組の親子が参加した。

周知イベントは、マインドフルネスを活用したお話と体験ワークショップ、リラックスにつながるボディワークやダンス、食育の講演会と実践報告、臨床心理士による身体を使ったワークショップと講演会、民族楽器の音を楽しむコンサートなど年間5回行い、延べ106名が参加した(大人のみ)。初めて参加する母親の多くは、最初、子育てに対して

必要以上に責任感や不安感を感じているため、表情が硬く、子どもに対しても厳しい眼差しを向けることが多かったが、継続的にスタッフと関わって気軽に相談したり、他の母親と会話したりすることで、次第に肩の力も抜け、表情も柔らかくなり、子どもとの関わり方も緩やかになっていったという。「乳幼児を抱えていると、病気やケガなどの心配から、野外へ出かけるのをつい敬遠しがちだが、自然体験が子どもだけでなく母親自身にとっても癒しや寛ぎにつながることを認識してもらったような気がします。身近な自然との触れ合いにより、徳島での子育ての可能性を多くの方々と共にできたと感じています」と、同法人では活動を振り返って話す。関わるスタッフも活動の意義を再認識し、事業継続への意欲を見せているという。



民族楽器の音を楽しむコンサート



気軽に足を運べて息抜きになると地元で好評

助成団体:特定非営利活動法人 自然スクールトエック

<https://toec.jp/>



自然豊かな徳島での子育ての可能性を参加者と共有する

助成金贈呈式において、非常に多くの団体に対して助成を行っていることを知るとともに、多様な社会問題に対して真摯に向き合っている団体の方々の姿を垣間見ることができ、刺激を受けました。ホールを運営する方々が私たちの活動に関して興味を持ってくださり、温かく迎えていただいたことを大変嬉しく感じました。今回の助成に大変感謝しております。

特定非営利活動法人 自然スクールトエック
渡邊 有紀さん